

信号用 SPD  
動作表示・警報接点付  
DA3-TP

信号用SPDの端子配列 L<sub>1</sub>L<sub>2</sub> 端子をアース端子より上に配列して、外部からの接続を容易にしました。

■用途

本器は計装用信号回線に侵入した雷サージにより、計装機器の電子回路が破損することを防ぐ信号用SPDです。

■特長

- JIS C 5381-21:2014 カテゴリ C2 に準拠しています。
- インパルス耐久性は 20kA(8/20 $\mu$ s) の高耐量です。
- 10kA(8/20 $\mu$ s)  $\pm$ 15% の誘導雷サージ (接地間) を検出します。  
動作表示：白に変化、警報接点：ON (連続)  
20kA(8/20 $\mu$ s) 未満の雷サージの場合、検出後も防護機能を持続します。
- 定格電流 (最大負荷電流) は 200mA です。
- 小形プラグイン構造で、本体部を端子台部から引き抜いても信号ラインがオープンにならない構造になっていますので、保守性に優れています。
- 接地端子と取り付け足、DIN レールは絶縁されています。
- 壁取り付けと DIN レール取り付けの両方に対応しています。
- 連装時に接地端子を接続する連結金具が使用できます。

JIS C 5381-21:2014 カテゴリ C2 準拠

動作表示



連結金具

DA3-TP (23.5×113×78mm)

■仕様および性能

項目	仕様	
品名	2線式信号用SPD	
形名	DA3-TP	
信号	直流信号用 <sup>(1)</sup>	
準拠規格	JIS C 5381-21:2014 カテゴリ C2	
使用周波数帯域	DC~100kHz	
最大連続使用電圧 U <sub>c</sub>	DC30V	
電圧防護レベル U <sub>p</sub> (5kA 8/20 $\mu$ s 印加時)	線間	73V 以下
	接地間	500V 以下
漏れ電流	線間 5 $\mu$ A 以下 (DC30Vにて)	
直列抵抗 (1線)	10 $\Omega$ $\pm$ 5%	
放電耐量	20kA(8/20 $\mu$ s) $\times$ 1回、10kA(8/20 $\mu$ s) $\times$ 5回	
誘導雷サージ検出	検出点	10kA(8/20 $\mu$ s) $\pm$ 15% (接地間)
	動作表示	検出前: 黒 検出後: 白 (連続)
	警報接点 (a接点)	検出前: OFF 検出後: ON (連続) (接点容量: AC/DC125V 0.5A 抵抗負荷)
接続端子	信号用端子: M3.5ねじ 接地用端子: M4ねじ	
適用電線	信号/接地端子	最大 5.5mm <sup>2</sup>
	警報端子(プラグ)	0.14~1.5mm <sup>2</sup> (1本) 0.08~0.75mm <sup>2</sup> (同断面積 2本)
定格電流 (最大負荷電流)	200mA	
耐電圧	電気回路一括	警報接点間: AC2000V 50/60Hz 1分間
	警報接点	接地端子間: AC2000V 50/60Hz 1分間
	電気回路一括	接地端子間: 非絶縁 (耐電圧試験は実施しないでください) <sup>(2)</sup>
接地	D種接地 (100 $\Omega$ 以下)	
構造	小型プラグイン構造 <sup>(3)(4)</sup>	
材質	本体: 難燃性樹脂(ABS) 端子台: 難燃性樹脂(ABS)	
取付	35mm幅レール(DINレール)または壁取付	
使用温度範囲	-10~+55 $^{\circ}$ C, 5~90%RH (結露しないこと)	
保存温度範囲	-40~+70 $^{\circ}$ C	
外観色	マンセルN1.5(黒)	
付属品	警報端子プラグ(フェニックスコンタクト製 MC1.5/2-ST-3.5AU)	
質量	110g	

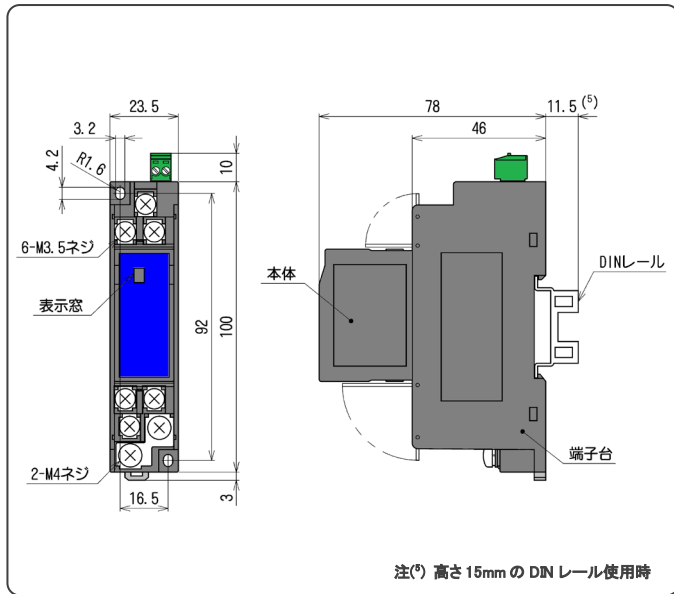
注<sup>(1)</sup> 直流信号用とは DC4~20mA、DC1~5V 等、DC30V 以下の信号用です。

<sup>(2)</sup> 配電盤の耐電圧試験の際は、SPD 本体部分を端子台から引き抜くか、SPD の接地線を外して実施してください。

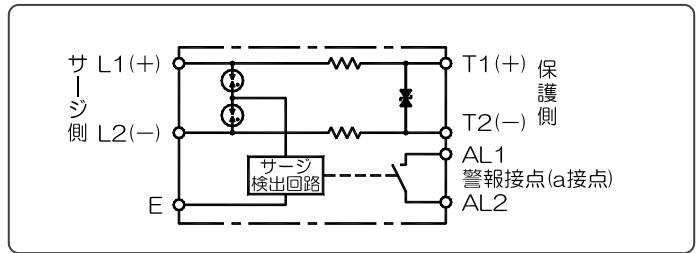
<sup>(3)</sup> 活線挿抜可能。本体を引き抜いても信号ラインがオープンになりません。

<sup>(4)</sup> 本体と端子台の挿抜回数は 50 回以下として下さい。

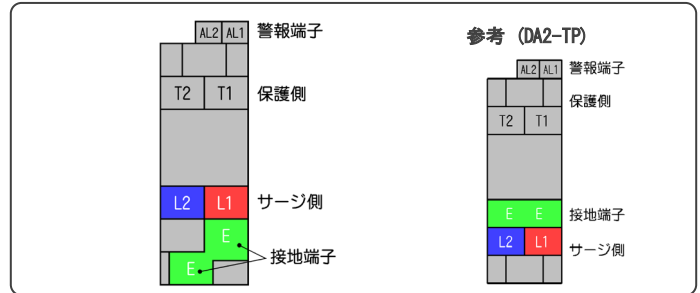
■外形図



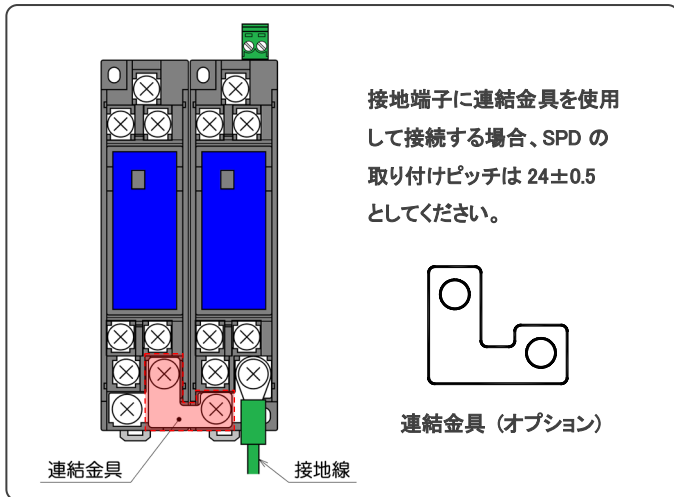
■結線図



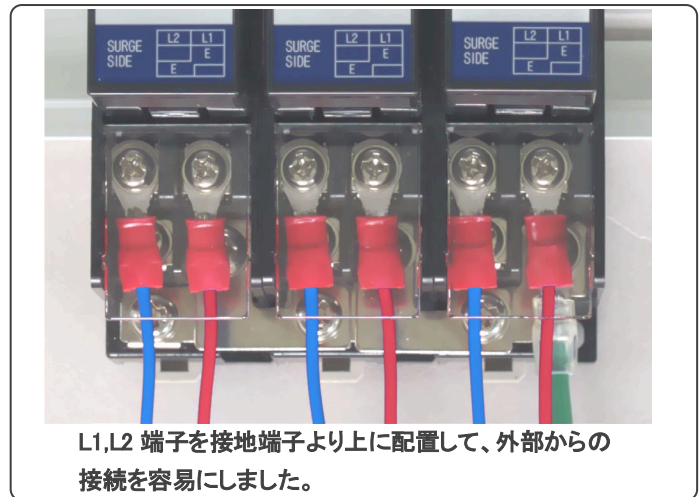
■端子配列図



■連結金具使用例



■入力部の端子の配線例



■ご注文時の指定事項

- (1) 形名 (2) 数量 (3) オプション 連結金具 あり・なし

本 SPD が動作した場合、通常は本体部分のみを交換する事で防護性能を復帰できます。しかし、インパルス耐久性を超えた誘導雷サージが侵入した場合、本体と端子台の接続部分(カードエッジコネクタ部分)に誘導雷サージ電流による放電跡が残ります。その場合は端子台側もダメージを受けている可能性がありますので本体と端子台の両方を交換してください。

■ご使用上の注意事項

- 配電盤の耐電圧試験の際は、SPD 本体部分を端子台から引抜くか、SPD の接地線を外して実施してください。
- 本体と端子台の挿抜回数は 50 回以下としてください。

⚠ 安全に関するご注意



注意

- 本製品を使用するに当たっては、専門知識が必要です。取扱説明書を参照の上、正しい取扱をしてください。
- 結線は結線図を十分に確認の上、行って下さい。
- 活線作業は、禁止して下さい。感電・機械の故障・焼損・火災の原因となります。



本社 住所：〒121-8639 東京都足立区一ツ家1丁目11番13号  
 電話：03 (3885) 2411 (代表)  
 FAX：03 (3858) 3966  
 京都営業所 住所：〒610-0114 京都府城陽市市辺西川原1-19  
 電話：0774 (55) 1391 (代表)  
 FAX：0774 (54) 1353

<https://www.daiichi-ele.co.jp>

※記載内容は性能改良等により、お断りなく変更することがございますのでご了承下さい。